



データセンターの加湿と 気化冷却

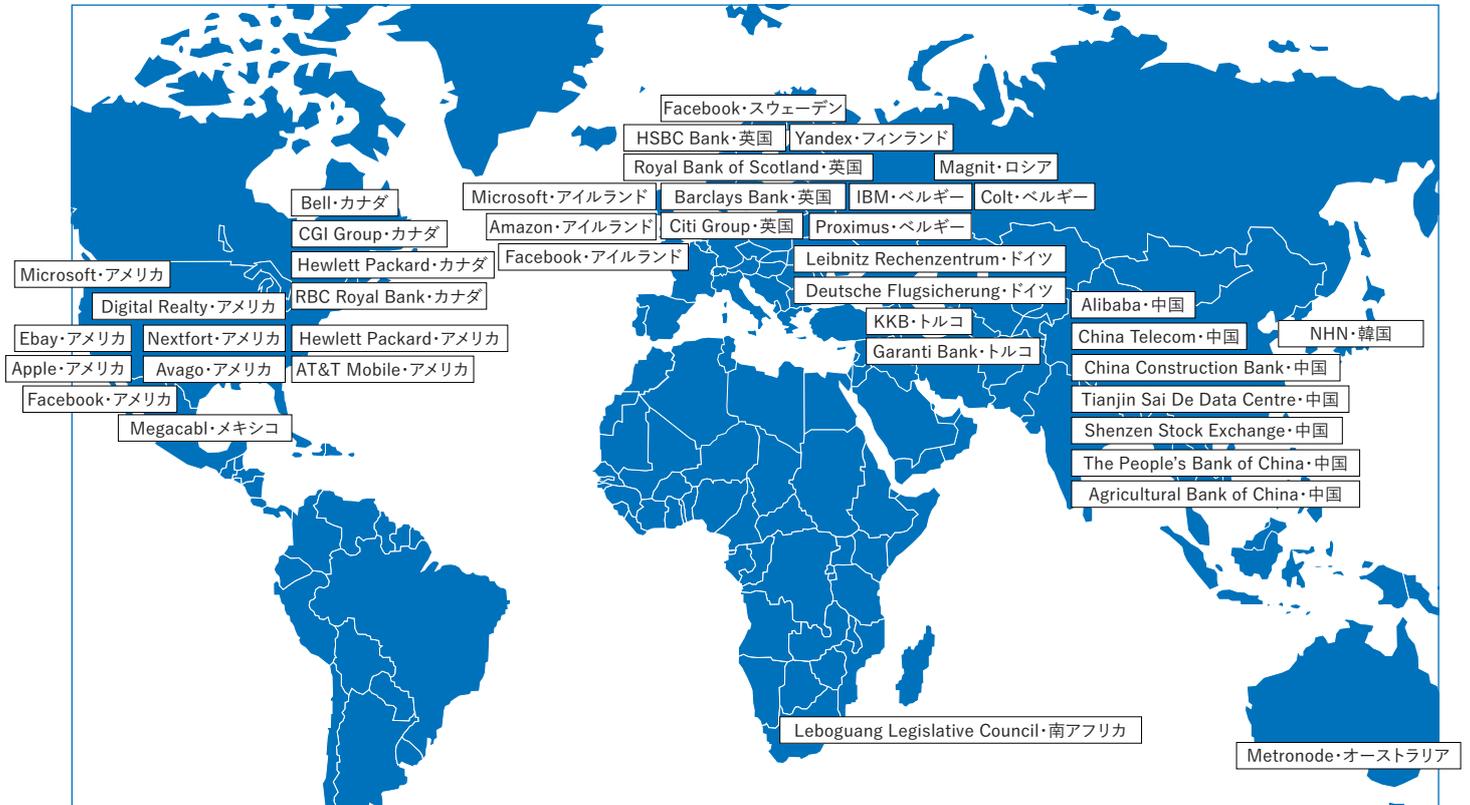
加湿と気化冷却

 **condair**

信頼できるテクノロジー

コンデアの加湿器は世界中のデータセンターで使用され、静電気放電(ESD)を防止した湿度コントロールを手掛け、大容量かつ低コストの気化冷却も提供しています。

世界最大手のブランドの幾つかも、自らのデータセンターの環境管理戦略を満たすコンデアの加湿システムに信頼を寄せています。



グローバルな専門知識、ローカルなソリューション

コンデアの製造施設はカナダ、英国、デンマーク、ドイツ、スイス、中国にあり、100%出資の販売事業は13か国、販売代理店は40か国以上にあります。

同社はグローバルなデータセンター産業に25年以上携わっています。データセンター事業開発チームは、ひたむきに組

織のあらゆる角度から専門知識を引出し、どこにプロジェクトがあろうと、クライアントに利益をもたらします。

地域の開発部門はプロジェクトチームと共にオーダーメイドのソリューションを提供します。そしてコンデアのサービスエンジニアリングチームは環境に必要な包

括的メンテナンスサポートを提供します。

コンデアの主要なグローバルのデータセンタープロジェクトにおける豊富な経験は、最初のコンセプトの話し合いから設置、試運転、その先にまで活かされています。

気化冷却

低エネルギー冷却によるPUEの削減

コンデアの断熱加湿器一台の操作にかかる電力は0.3kwですが、630kwまでの断熱冷却が可能です。この技術はデータセンターの換気システムにおける冷却容量を増やし、外気が暑すぎる時期にはフリーエア空冷の使用量を上げることができます。

コンデアの加湿器は低エネルギー気化

冷却を流入する新鮮な空気に直接提供しますが、間接気化冷却システムにも組み込まれています。そうすることにより、入ってくる空気の温度が下がるため加湿排気による湿度上昇も起こらず、結果として熱回収システムを經由して冷たい熱エネルギーが生じます。

そうした低エネルギー冷却技術は、デー

タセンターにおける機械的冷却の必要性を大幅に減らす、もしくはなくすことが可能となり、結果的にPUEの削減にもつながります。



加湿

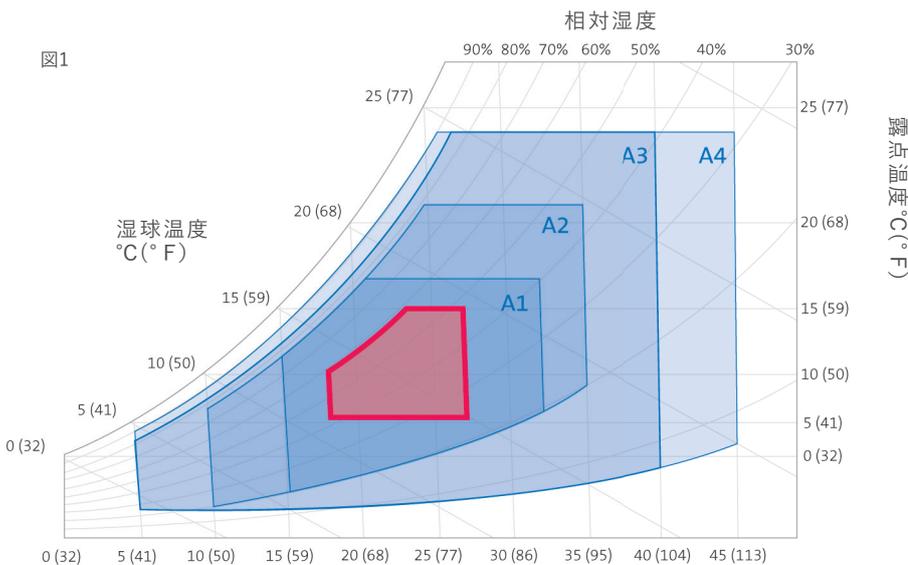
ASHRAE基準の維持とESDとの闘い

データセンターの加湿コントロールはESDが電気設備にダメージを与えないことが必須です。既存のデータセンターにおいてASHRAEの推奨は露点5.5°C

の湿度レベルから60%RHで、許容範囲は20~80%RH(図1参照)です。

コンデアはデータセンターのオペレーターがASHRAE基準を満たす包括的な加

湿器を取り揃えており、革新的な低エネルギー断熱システムは、データホールからの熱を利用して加湿器のエネルギー消費を最小化しています。



データセンター向けソリューション

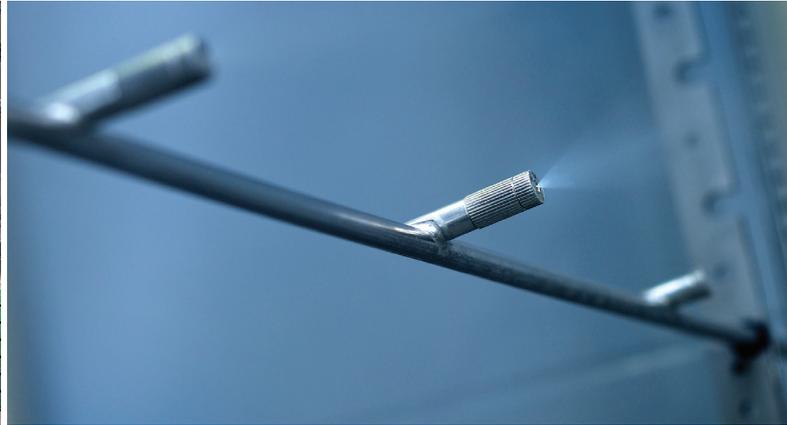
コンデアはどんなデータセンターの環境制御システムにも適合する加湿/気化冷却製品を包括的な範囲で取り揃えています。

個別の室内スチーム加湿器から大型ダクト内気化システム、空調ユニットの改修からモジュラーデータセンターの新築建物に至るまで、コンデアには理想的なソリューションを提供できる専門知識と技術があります。

現場での無料コンサルは
お気軽にお問い合わせください



蒸発加湿



高圧加湿



蒸気加湿



ハイブリッド加湿

〒102-0093

東京都渋谷区恵比寿西2-8-4 EX恵比寿西ビル5階

Tel : +81-(0)3-6869-7023 Email : jp.sales@condair.com Website : condair.jp

B_JP202406_Humi-SemiconEle_datacenter_v1